

技術開発部報告書情報シート

記入年月日:2000年3月1日

情報No.	K-00-1	情報区分	プラ処理協研究報告
-------	--------	------	-----------

題名 報告書名	小型焼却炉およびダイオキシン触媒の動向調査報告書				
報告年月	2000年3月	ページ数	153	著者・出版元	プラ処理協

【キーワード】

処理方式	焼却	要素技術	焼却・ダイオキシン
樹脂類別	プラ一般	化学物質名	-
形状別	一般廃棄物・産業廃棄物	用途別	焼却
法規制	廃掃法、DXN特別措置法	国別	日本

調査 研究 内容	ダイオキシン類対策措置法が公布され、2000年1月15日に施行されることになったので、小型焼却炉の技術動向を調査した。また、ダイオキシン類の発生抑制・低減触媒の技術動向についても調査した。
調査 研究 結果	小型焼却炉については、燃焼の3T「高温燃焼」「滞留時間」「混合」により、安定して完全燃焼すれば、排ガス中のダイオキシン類濃度は炉の大小に関係なく、十分に低く抑えられることがわかった。また、ダイオキシン類の発生抑制・低減触媒については、効果があるものが開発されているが、実績作りに奔走中のメーカーもあり、今後その効果が認知され、広く利用されることを期待する。
備考	